



事業案 小児がん

学ぶ

- ・クラブや地区の会議で医療専門家に講義を行ってもらうことにより、小児がんへの認識を高める。
- ・地元の小児がん病院の職員と協力し、その患者と家族のニーズについて学ぶ。クラブが主な課題や不足に対処する方法について、意見を出し合う。

行動する // 初級

- ・ **近隣の小児がんセンターを探し、治療を受けている子どもたちに工作の材料、パズル、ゲームなどを提供する。**
- ・ 治療を受けている子どもの家族のために健康的な食事を用意する。
- ・ クラブや地区のウェブサイトやソーシャルメディアに毎月小児がんに関する記事を載せる。
- ・ 地元の学校や図書館に、がん支援に関する書籍や雑誌を提供する。
- ・ カードを励ましの言葉で埋めて、地元のがんセンターに提供する。
- ・ がんの子どもがいると分かった家族や、近隣の小児がんセンターにギフト券を贈る。こうした券でガソリン、駐車、食料などの費用を賄えるようにする。
- ・ 新品の帽子、ヘッドスカーフ、毛布などを購入、または作って小児がんセンターに寄付する。

行動する // 中級

- ・ 家族やがんの子どもが治療施設と行き来できるよう、移動手段の手配を支援する。
- ・ がんの子どもとそのきょうだいに家庭教師を提供する。
- ・ 子どものスポンサーとなり、小児がんキャンプや活動に参加させる。
- ・ 写真を撮影することで、子どもが治療を受けている期間の家族の歩みを記録する。
- ・ ラジオの公共広告、ソーシャルメディア・キャンペーン、小児がんに関する映画の上映会などを通じて、小児がんへの認識を高める。
- ・ 地元の病院や治療センターで催しを開き、小児がんの子どもたちを楽しませる。
- ・ **寛解期の子どもと家族を対象に週末の静養会を主催する。**

行動する // 上級

- ・ 患者、介護者、生存者など、小児がんに苦しむ人々への支援グループを組織する。
- ・ 小児がんキャンプを主催する。
- ・ がんの子どもたちが治療中および寛解期に十分な栄養を取れるよう、健康食プログラムを設ける。
- ・ 骨髄移植登録所に関する知識を深める。国内に一つも存在しない場合には、登録所を設けるには何が必要かを見極める。
- ・ 不可欠な医薬品と支援サービスへの資金援助を行う。重要な医療ニーズとしては、化学療法用品、栄養補助食品、医療機器、専門職員などが挙げられる。
- ・ がん治療センターで子どもが治療を受けている間、家族が一時的に宿泊できる施設の選択肢について、知識を深める。既存の宿泊施設でボランティアを行う、または新たに施設を設ける。

